



—東地中海地域ニュース—

トルコ：EU加盟交渉（加盟交渉チャプターの開始）

（7月1日付現地報道）

6月30日にベルギーで開催されたトルコのEU加盟交渉に関して、7月1日付トルコ国内での報道ぶり概要は以下の通り。

1. 6月30日、ブリュッセルで開催されたトルコ・EU政府間の加盟交渉会議にて第16章（税金制度）の交渉開始が決定した。これにより、トルコ・EU間では11チャプターの交渉が開始する事になる。

2. 今年1月にバウシュEU加盟交渉担当国務大臣が就任した際、今後の各EU議長国期間中に3チャプター以上の交渉開始を目標として設定したが、今回チェコ議長国期間においては1チャプターのみ交渉開始に留まった。

バウシュ大臣は今後1つでも多くのチャプターの交渉開始を目指すとしながらも、技術的には交渉開始準備の整っているチャプターが政治的理由により棚上げになっているとして、暗にEUを非難した。

エルドアン首相もEU加盟交渉に関して、EU加盟はトルコにとって最大の目標の一つであるとしながらも、EUの特定の政治家の言動によりトルコ国民のEU加盟に対する意欲と期待が下がっているとして、EUに対しトルコの加盟に関してより建設的な態度を取るよう呼びかけた。

3. 2009年後半のEU議長国は、トルコのEU加盟に肯定的なスウェーデンが務める。Michael・Leigh・EU委員会拡大総局長は、スウェーデンのEU議長国期間中、交渉開始の可能性が高いチャプターとして、第8章（競争政策）、第15章（エネルギー）、第19章（社会保障・雇用）、第26章（教育・文化）、第27章（環境）を挙げた。